資源ごみ（紙類）の出し方

収集料金は無料です。
10kg以下の重さで出す。

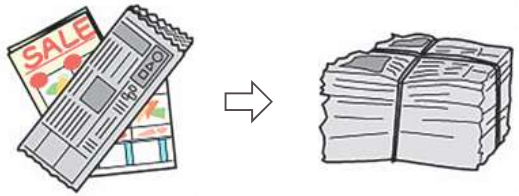
各地区で決められた「資源ごみステーション」に出してください。

新聞紙

各種新聞
新聞の折込チラシ

- 汚れたものは「燃やすごみ」で出す。
- 新聞、折込広告チラシ以外の紙は、「書籍・雑誌及び資源となる紙類」で出す。

①折込広告チラシを新聞の間に挟む。
②ひもで十文字にしばる⇨指定場所に積み重ねる。



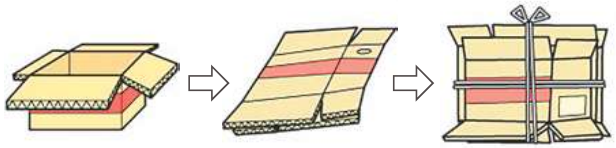
新聞・チラシ　　十文字にしばる

段ボール

ミカン箱、缶ビールの箱、電化製品や家具等の梱包用段ボール

- 留金は「燃えないごみ」で、ガムテープは「燃やすごみ」で出す。
- 汚れたものは「燃やすごみ」で出す。

①留金やガムテープをはずす。
②1m四角以下の大きさにたたむ。
③ひもで十文字にしばる⇨指定場所に積み重ねる。



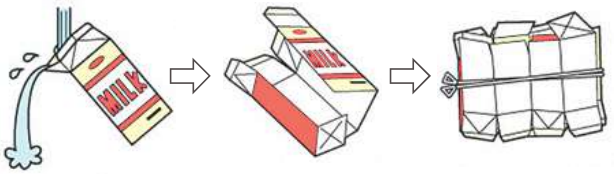
1メートル四角以下にたたむ　　十文字にしばる

紙パック

容量が500ml以上の牛乳、コーヒー牛乳など乳飲料やジュースなど

- 500㎖未満のものは「燃やすごみ」で出す。
- 酒パック等注ぎ口のついているものや、内側が銀色またはツルツルしたものなど特殊加工してあるものは「燃やすごみ」で出す。

①中を洗い、切り開いて乾かす。
②ひもで十文字にしばる⇨指定場所に積み重ねる。



中を洗う　　切り開いて乾かす　　十文字にしばる

資源ごみ（紙類）の出し方

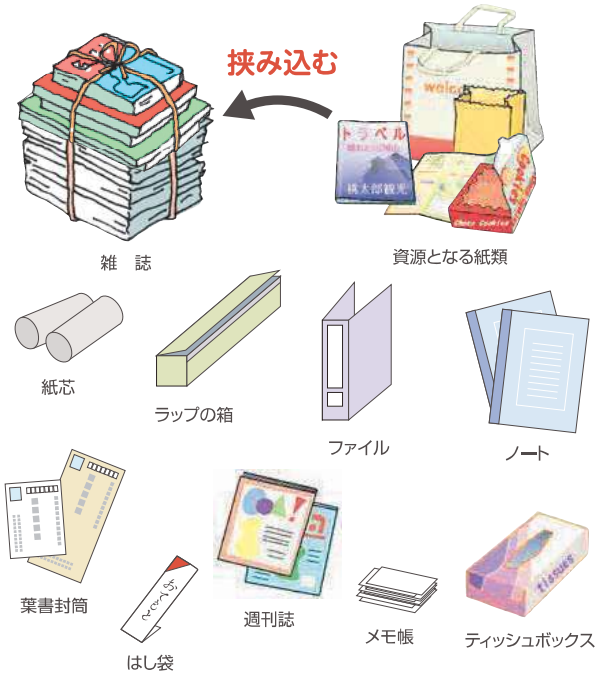
収集料金は無料です。
10kg以下の重さで出す。

各地区で決められた「資源ごみステーション」に出してください。

書籍・雑誌及び資源となる紙類

- 書籍・雑誌・パンフレット
  週刊誌、月刊誌、漫画本、辞書、絵本、教科書、カタログ、手帳
- 資源となる紙類
  ノート、カレンダー、菓子箱、贈答品の化粧箱、おもちゃの箱、ティッシュボックス、贈答品の包み紙、紙袋、ラップやアルミホイルの箱等、紙芯
- 15㎝四角より小さな「資源となる紙」
  はがき、封筒、メモ紙
- 雑誌のビニールカバーは「プラスチック類ごみ」で、化粧箱・封筒のセロハン、ビニール等は剥がして「燃やすごみ」で出す。
- ファイルやバインダー、ラップやアルミホイルの箱等に付いている金属やプラスチックは取り除いて出す。

①「資源となる紙類」を書籍・雑誌にしっかり挟み込む。
②15㎝四角より小さな「資源となる紙」は紙袋に入れて、紙テープなどで封をして出す。
③大きな留金等ははずす。
④ひもで十文字にしばる⇨指定場所に積み重ねる。



雑　誌　　資源となる紙類
紙芯　　ラップの箱　　ファイル　　ノート
葉書封筒　　はし袋　　週刊誌　　メモ帳　　ティッシュボックス

回収できないもの
「燃やすごみ」で出してください

- 特殊な加工をしてある紙
  油紙、カーボン紙、写真、レシート、紙コップ、金銀紙、500㎖未満の紙パック
- 汚れた紙類
  ティッシュペーパー、キッチンペーパー、紙おむつなど
- 個人情報のわかるもの



紙コップ　　写真　　レシート
紙くず　　紙おむつ

資源ごみ（容器類）の出し方

収集料金は無料です。

各地区で決められた「資源ごみステーション」に出してください。

ペットボトル

ジュース、スポーツ飲料、酒類、お茶、調味料

●飲料用、食料用のペットボトルに限る。

PET ペットボトルはこのマークが目印

①ラベルとキャップを取る。
②中を洗う→指定の緑色メッシュ袋へ入れる。
●キャップリング（キャップを取ったあとに残るリング状のもの）は取らずにつけたまま出す。
●足でつぶして出してもよい。
●ラベルとプラスチックのキャップは「プラスチック類ごみ」で、金属のものは「燃えないごみ」で出す。
●油類など汚れが取れないものは「燃やすごみ」で出す。



ラベルとキャップをはずす　　中を水で洗う

アルミ缶及びスチール缶

ジュース缶、スポーツ飲料缶、粉ミルクの缶、調味料の缶、缶詰の缶

●のりの缶、菓子缶等上記以外の缶は「燃えないごみ」で出す。

①キャップ又はフタを取る。
②中を洗う→指定の青色メッシュ袋へ入れる。
●汚れのひどい缶は「燃えないごみ」で出す。
●飲料・食用以外の缶（機械油などの缶）は「燃えないごみ」で出す。
●スプレー缶（カセットボンベ・ヘアスプレー・殺虫剤・スプレー塗料など）は「適正処理ごみ」で出す。
●缶詰のフタは「燃えないごみ」で出す。

アルミ　スチール



茶色びん・無色透明びん・その他の色びん

ジュースびん、スポーツ飲料びん、酒類のびん、調味料びん、海苔の佃煮びんインスタントコーヒーのびん、飲み薬のびん

●飲料用、食料用のびんに限る
●ビールびんや一升びんなどのリターナブルびん（返却回収可能びん）は販売店に返す。

①キャップ又はフタやびんの口のプラスチック部分はすべて取る。ラベルは付いたままでもよい。
②中を洗う⇒指定のコンテナ（かご）へ寝かせて入れる。
●飲料用以外のびん（化粧品や塗り薬などのびん）やびんの口のプラスチック部分が取れないびんは「燃えないごみ」で出す。
●プラスチックのキャップや栓は「プラスチック類ごみ」で、金属のものは「燃えないごみ」で出す。
●割れたびんは紙に包んで「燃えないごみ」で出す。
●酒びん・ビールびんなどはラベルを付けたまま出す。



茶色　無色透明　その他（青色・緑色・水色・黒色等）

適正処理ごみの出し方

収集料金は無料です。

各地区で決められた「資源ごみステーション」に出してください。

適正処理ごみ

蛍光管、電球、乾電池、水銀使用の体温計、可燃・不燃性の「高圧ガス」が使用してあるスプレー缶、ライター

●ボタン電池、充電式電池は回収していません。
●電子体温計は「不燃ごみ」で出す。

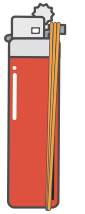
①蛍光灯などの保護ケースがあれば、それに入れる。
②スプレー缶は必ず使い切り穴は開けない
⇒指定のコンテナ（かご）へ入れる。
●割れた蛍光灯、電球、体温計は袋に入れて「燃えないごみ」「燃えないごみ」で出す。



ライターのガスの抜き方

※ガス抜きは、火の気のない風通しのよい屋外で行ってください。安全のため下記の手順でガス抜きを行ってから出してください。

①周囲に火の気のないことを確認する。
②操作レバーを押し下げる。着火した場合は吹き消す。
③輪ゴムや粘着力の強いテープで、操作レバーを押し下げたまま固定する。
④「シュー」という音が聞こえていれば、ガスが抜けている。
（聞こえない場合は、炎調整レバーを+方向いっぱいに動かす）
⑤この状態で、火の気のない風通しのよい屋外で半日から1日放置し、確認のため着火操作をする。火がつかなければガス抜き完了です。

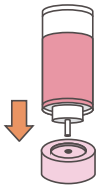


輪ゴムや粘着テープで押し下げたままレバーを固定する

スプレー缶の出し方

※ガス抜きは、火の気のない風通しのよい屋外で、周囲への飛散に注意して行ってください。

①缶を振って音がしないか中身の有無を確認する。
②安全のため中身は必ず使い切る。
「シャカシャカ」「チャプチャプ」音がしたら中身が残っています。必ず最後まで使い切る。
③「ガス抜きキャップ」で出し切る。
スプレー缶には「ガス抜きキャップ」等が装着されています。缶に記載された使い方をよく読んでガス抜き処理を行う。
④穴を開けずに出す。



カセットボンベの出し方

※カセットボンベには「ガス抜きキャップ」はついていません。

①安全のため中身は必ず使い切る。
カセットコンロにはヒートパネルが付いています。カセットボンベを適度に加熱することで、火力を維持し、残り少ないボンベでも最後まで使い切ることが出来ます。
②穴を開けずに出す。

